

特別支援学級(知的固定) 国語科学習指導案

日 時 令和6年11月13日(水)
 第5校時 13:40~14:25
 学校名 西東京市立柳沢小学校
 対 象 第6学年1名 第5学年1名
 第4学年1名 第3学年6名
 計9名
 会 場 1階 みどりA1・2教室
 授業者 主任教諭 貫井 良史

西東京市小学校教育研究会 特別支援教育・教育相談部
 研究主題『特別支援教育の理解と実践』
 ~児童の実態に合わせた見立てと指導の実際~

1 単元名 読み聞かせをしよう (教材名『はじめての おつかい』 筒井 頼子:作 林 明子:絵{福音館書店})

2 単元の目標

- 語のまとまりや言葉の響きに気を付けて、音読することができる。【知識及び技能】
- 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。【思考力・判断力・表現力等】
- ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。【思考力・判断力・表現力等】
- 言葉がもつよさを感じながら楽しんで音読し、思いや考えを伝え合おうとする。【学びに向かう力、人間性等】

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	① 「読むこと」において、場面の様子に着目し、登場人物の行動を具体的に想像している。 ② 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもったりしている。	① 今までの経験を生かして、積極的に主人公の行動と自分の体験とを結び付け、読み聞かせに生かそうとしている。

4 指導観

(1) 単元観

小学校学習指導要領 国語科における低学年の目標に、

(2)順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。

と書かれている。このことから、文章の内容を捉え、既存の知識や体験と結び付けて自分の思いや考えをもつことができるように重点的に育成していきたい。本単元においては、本文の記述と児童の買い物学習の経験を結び付けて、主人公の行動を具体的に想像したり感想をもったりする力を付けさせていこうと考える。

また、特別支援学校学習指導要領総則編 国語 小学部[国語]の目標に、

(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。

と、書かれている。本単元の学習で身に付けたことを、日常生活でも生かすことができるように、連続性のある指導をしていくことも合わせて必要と考える。さらに、自立活動の側面からも指導をしていく。(別紙「個別の実

態と課題」参照)

(2)児童観

みどり A 学級は、知的障害の固定学級であり、知的障害、自閉スペクトラム症(ASD)、学習障害(LD)、注意欠如多動症(ADHD)などの障害特性をもつ児童同士が、それぞれの発達段階に合わせて学年を越えた集団で学習・生活をしている。児童による個人差が大きい中で、個々の目標を設定し、達成できるように支援しながら指導している。

知的障害のある児童の学習上の特性として、以下のようなものがある。

- ① 学習によって得た知識や技能は断片的になりやすく、実際の生活の場で応用されにくい。
- ② 成功体験が少ないことなどにより、主体的に活動に取り組む意欲が十分に育っていない。
- ③ 生活経験が不足しがちである。
- ④ 興味・関心の幅が狭い。
- ⑤ 抽象的な内容より、具体的な内容の指導がより効果的である。
- ⑥ 自閉スペクトラム症(ASD)を兼ね合わせている児童は、想像することが苦手で相手の立場になって考えることが難しい。(本グループの 5 名該当)

以上の特性をふまえ、国語科と算数科の指導では、児童の実態に応じて 4 つのグループに分けて指導している。学習したことを実際の生活に生かせるように具体的に体験したり、これまでに経験したことを振り返って考えたりするように指導している。本単元を学習するにあたり、本文の記述をもとに登場人物の心情を想像する学習をしてきた。夏休み明けには、B 学級から 4 年児童 1 名と他校の通常級から 3 年児童が 1 名転入してきた。この 2 名の児童理解を深めながら、主人公の行動を具体的に想像したり感想をもったりする力を付けていきたい。

(3)教材観

本教材は、小さな女の子が母親に代わって近所にお使いに行く物語文である。今年度みどり A 学級では、生活単元の授業で調理学習を毎月 1 回設定している。縦割り班で近所のスーパーに買い物学習に行き、各班が担当する食材を買っている。そのため、児童が実際に買い物をした経験を振り返りながら主人公の気持ちを考えたり、想像したりしやすいと考える。また、単元の途中で児童が実際に一人で買い物をし、主人公がどのような気持ちだったのか体験する機会を、生活単元の授業として設定する。このように、他教科ともつながりを持たせながら、具体的に想像したり感想をもったりする力をことごとできるように迫っていく。単元の終わりには、下級生に読み聞かせをする活動を設定することで、主人公の言動について想像したことを生かせるようにする。

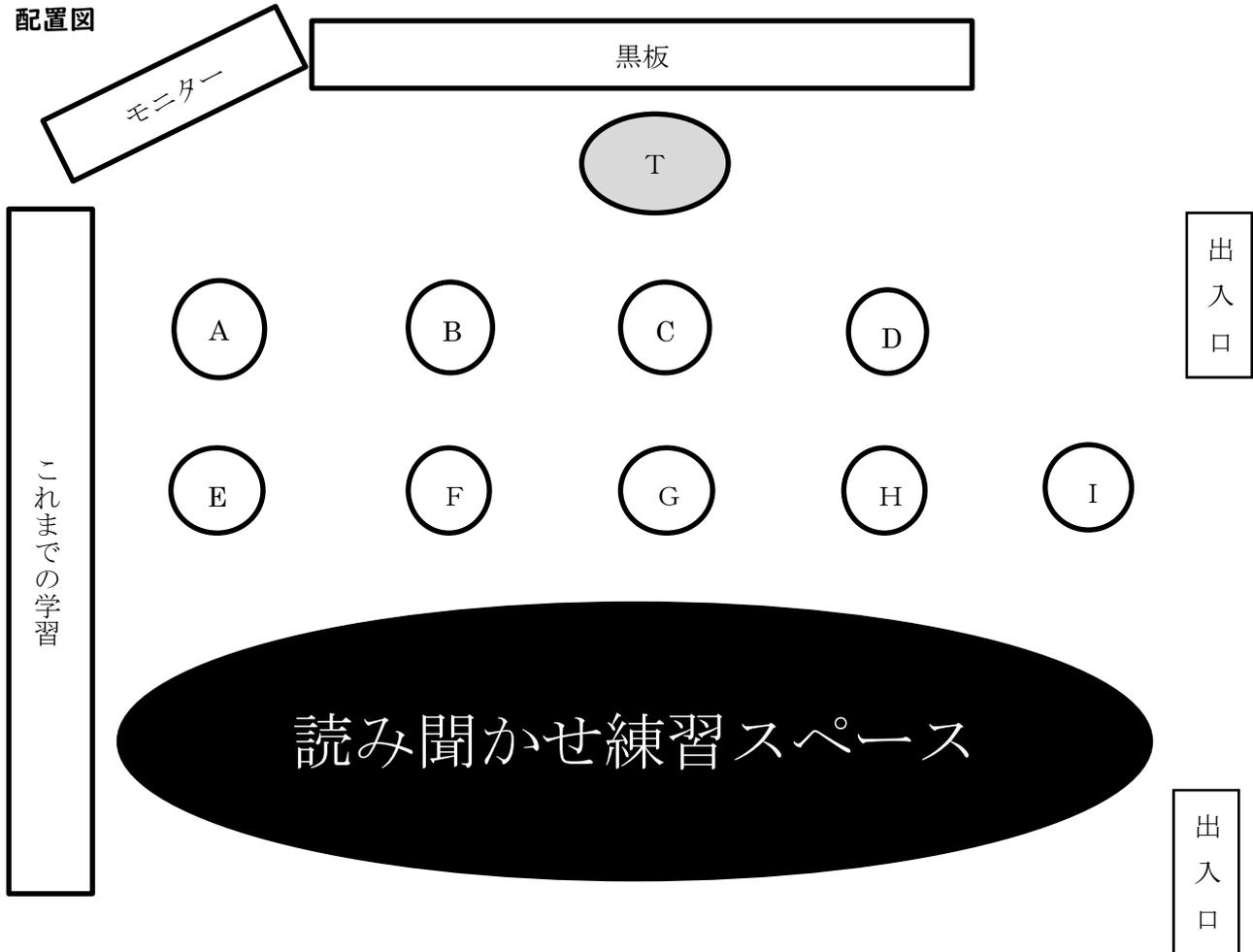
5 年間指導計画における位置付け(読むこと)

	単元名	時数
前期 4～11月	みんな、おおきくなった(説明文)	10時間
	およぐ(説明文)	8時間
	えんそくおにぎり(物語文)	12時間
後期 11月～3月	はじめてのおつかい(物語文)	11時間
	まるとさんかく(説明文)	5時間
	いまからともだち(物語文)	14時間

6 単元の指導計画と評価計画(全9時間)

次	時	目標	学習内容・学習活動	評価規準(評価方法)
第一次	第1時	初発の感想をもつことができる。	○大まかな単元指導計画を確認する。 ○範読を聞き、感想を発表する。	ウ①(観察・感想)
	第2時	段落と場面を把握することができる。	○段落分けをして、場面の移り変わりに気付く。 ○挿絵を並び替えながら、あらすじを確認する。	イ①(ワークシート)
第二次	第3時	第一場面(家)で、主人公の気持ちを想像することができる。	○場面の音読をする。 ○初めて一人で買い物に行くことを確認し、主人公の気持ちを考える。	ア①(音読・観察)
	第4時 第5時	第二場面(店までの道)で、主人公の気持ちを想像することができる。	○場面の音読をする。 ○主人公がママと約束したことを確認する。 ○途中でどんなことが起こったか順番に整理して登場人物の行動を具体的に想像する。	
	第6時 第7時	第三場面(店の前)で、主人公の気持ちを想像することができる。	○場面の音読をする。 ○誰もいないことや、何度声をかけても気付いてもらえないことを確認し、主人公の気持ちを考える。	
	生活 単元	実際に一人で買い物を体験することができる。	○主人公と同じ体験をして、心情をより具体的に考えられるようにする。	イ①②(ワークシート)
	第8時 本時	第四場面(買えた)場面で、主人公の気持ちを想像することができる。	○場面の音読をする。 ○涙が流れたことを確認し、主人公の気持ちを考える。文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。	ウ① (観察・ワークシート)
	第9時	第五場面(帰り道)で、主人公の気持ちを想像することができる。 各場面ごとの主人公の気持ちの変化を捉えることができる。	○場面の音読をする。 ○ママの姿を見た時の、主人公の気持ちを考える。 ○これまで学習してきたことを振り返り、主人公の気持ちの変化を表にまとめる。 ○様々な感じ方の違いにふれ、友達と関わりながら自分の考えを伝える。	
第三次	第10時	読み取ってきたことを生かして、読み聞かせの練習をすることができる。	○既習事項(「」や句読点のはたらき)を意識して読む。	ア①(観察・練習)
	第11時	下級生に読み聞かせをすることができる。	○これまで練習してきたことを生かして、下級生に音読劇を披露する。 ○音読劇の感想を発表する。	ウ①(発表)

7 配置図



7 指導の手立て

(1) 学習環境

- ・黒板周辺の物や掲示物を少なくして、児童が授業に集中しやすい学習環境を整える。
- ・机と椅子にボールをはめ込み、椅子や机を動かすときに雑音が出ないようにする。

(2) 指導方法や教材の工夫

ア タイマー

授業の残り時間が一目で分かるので、児童が見通しをもって授業に参加できるよう用いる。

イ 板書について

学習の流れを黒板に示しておき、今行っていることを矢印で示す。1時間の見通しをもって活動ができるように、活動が終わったら花丸を付ける。活動内容は以下の通りである。

- ・音読: 本時の場面を全員で音読する。
- ・読み取り: 主人公の気持ちを想像する。
- ・振り返り: 今日学んだことを振り返って、できたことを児童が自己評価する。

ウ 既習事項を視覚的に示す

本時まで学習してきたことを教室に掲示し、児童がいつでも確認できるようにする。

エ ICT 機器の活用

「買いものをしてみよう」(NHK for School) や、「さあ始めよう!自分でお買い物」(東京くらし WEB) の動画を参照し、買い物の注意点やポイントを事前に確認する。

オ 実物教材の活用

買い物で使用する材料の写真や模擬貨幣など、できるだけ本物に近い物を使用し、実生活に生かすことができるようにする。

カ ワークシートの工夫

児童の発達段階や障害特性、実態に合わせて2種類のパターンを用意して「学びの個別最適化」を図る。

キ 音読劇の役割分担

音読や、他者の前で活動することに抵抗感のある児童のために、無音で登場する自転車と自動車の役割をつくって、参加しやすいように配慮する。

ク マイクの活用

発表の声が小さくなってしまいう児童のために使用する。特に、音読劇では他者に見られることで極度に緊張する場合が考えられるので、念のため準備しておく。

ケ 気持ちカードの活用

気持ちを読み取るのが苦手な児童や、語彙が少なくても気持ちをうまく言語化できない児童のために使用する。表情のイラストと気持ちが書いてあり、主人公の気持ちに近いものを選ぶことで、心情を読み取る際の支援とする。

9 本時の学習(全11時間中の第8時間目)

(1)本時の目標(※別紙「個別の実態と課題【当日配布】」参照)

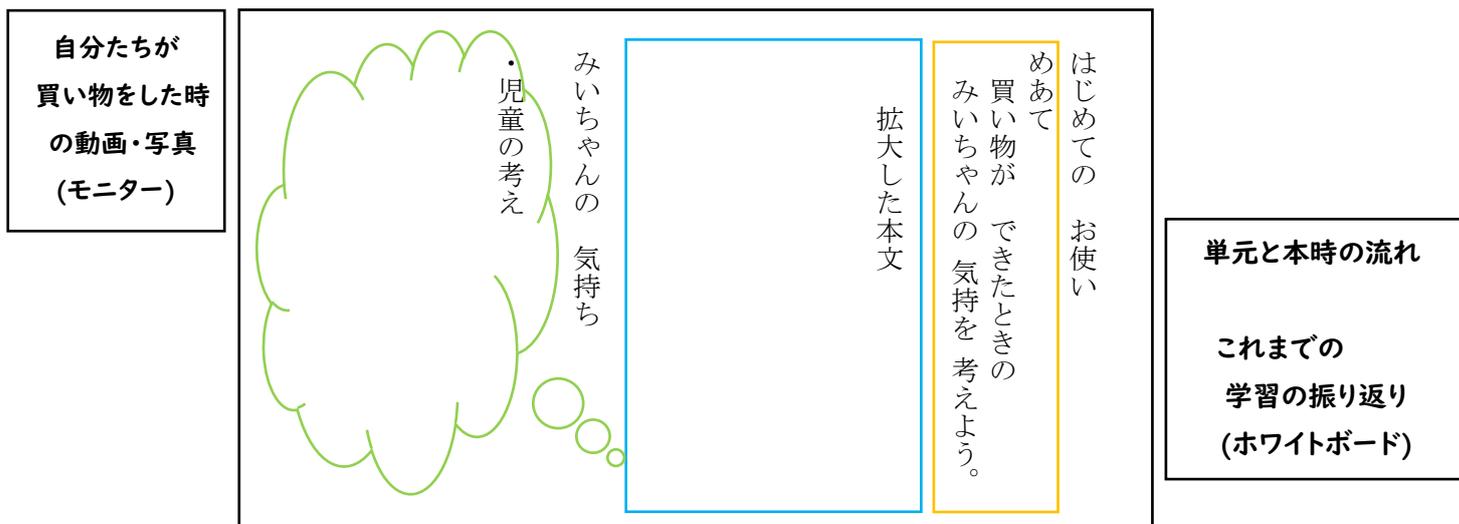
主人公の行動を具体的に想像し、気持ちを考えることができる。

(2)本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	指導上の留意点 配慮事項	評価規準 (評価方法)
----	-------------	--------------	----------------

<p>導入 5分</p>	<p>○本時の学習の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>①音読 ②読み取り ③振り返り</p> </div> <p>○前時までの学びを振り返り、本時のめあてを示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>めあて 買い物ができたときの、みいちゃんの気持ちを考えよう。</p> </div>	<p>・黒板に学習の流れを示す。</p> <p>・前時までの学びを教室に掲示し、視覚的に捉えやすくする。</p>	
<p>展開1 15分</p>	<p>○生活単元の授業で、一人で買い物をしたときのことを振り返り、感想を発表する。</p> <p>○場面の様子やみいちゃんの行動を確認する。</p>	<p>・買い物をしたときの写真(動画)を見ながら、体験を振り返りやすくする。</p> <p>・本文の記述に注目させ、「ほっとして」という心情に気付かせる。また、買い物学習のときに一人で商品が買えた時に、どんな気持ちだったか振り返って、みいちゃんの気持ちを考えやすくさせる。</p>	
<p>展開2 20分</p>	<p>○買い物ができた時のみいちゃんの気持ちを考える。</p> <p>・みいちゃんの気持ちを発表する。</p> <p>・今回読み取ったことを読み聞かせに生かせるように、読み方を工夫して音読する。</p>	<p>・いろいろな考えがあってよいことを事前に伝えておく。発言できない場合は、ワークシートに書くか、気持ちカードから選ばせる。</p> <p>・児童の発表を共感的に受容する。似ている気持ちの児童はまとめて、読み聞かせ練習のグループ編成に生かす。</p> <p>・3人1グループで役割を交代しながら行う。</p>	<p>イ② 場面の様子に着目して、主人公の行動を具体的に想像したり、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもったりすることができる。(発言・ワークシート)</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>○本時のめあてを振り返り、自己評価をする。</p> <p>○次時の予告をして、意欲をもたせる。</p>	<p>自己評価が適切にされているか、児童のワークシートを確認する。</p> <p>・次時の見通しがもてるようにする。</p>	

(3)板書計画



(4)評価

主人公の行動を具体的に想像し、気持ちを考えている。